

## 華能国際電力股份有限公司との第1回技術情報交換会の開催について

当社は、このたび、中国の発電会社である華能国際電力<sup>グループ</sup>股份有限公司(本社:北京市, 代表者:曹培玺[ツォー・ペーシ]董事長)の技術者の皆さまに来日いただき、初めてとなる技術情報交換会を実施することとなりました。

本技術情報交換会は、昨年10月に締結した、「超超臨界圧(USC)石炭火力発電所※の運用・保守等に関する技術協力契約」([平成21年10月20日お知らせ済み](#))に基づき、計4回程度、開催する予定です。

当社は、華能国際電力股份有限公司との技術協力を進めていくことで、中国国内における石炭火力発電所の環境問題改善等に貢献していきたいと考えています。

※石炭を燃焼させて作る蒸気を、従来よりもさらに高温・高圧にして発電する方式であり、熱効率が高いため、従来に比べて燃料使用量が少なく、二酸化炭素排出量の削減を図ることができる。

### 1. 情報交換の内容

- (1) 華能国際電力股份有限公司に提供する技術協力資料の中間報告
  - ・USC発電所のトラブル事例とその対策について
  - ・USC発電所の信頼度維持・向上に関する工夫について
  - ・USC発電所の点検作業要領について 他
- (2) 三隅発電所の定期点検(平成21年12月10日～平成22年3月17日予定)の実施状況を交えた情報交換

### 2. 出席者

- ・華能国際電力股份有限公司 生産部副經理 王徳学[ワン・デューシュー]氏 他 計8名
- ・中国電力株式会社 電源事業本部部長(火力) 芦谷 茂 他

### 3. 日程

平成22年1月18日(月)～1月21日(木)

日付	実施内容	実施箇所
1月18日(月)	・挨拶および意見交換 (16時30分～17時00分)	中国電力本社 (広島市中区小町)
1月19日(火)	・三隅発電所内見学および技術協力資料に関する情報交換 (11時00分～17時00分)	三隅発電所 (浜田市三隅町)
1月20日(水)	・三隅発電所定期点検に関する情報交換 (9時00分～15時00分)	
1月21日(木)	・岩国発電所見学 (11時00分～14時00分)	岩国発電所 (岩国市藤生町)

### 【添付資料】

 [別紙「華能国際電力股份有限公司の概要」\[PDF:57KB\]](#)

以上

## 華能国際電力股份有限公司の概要

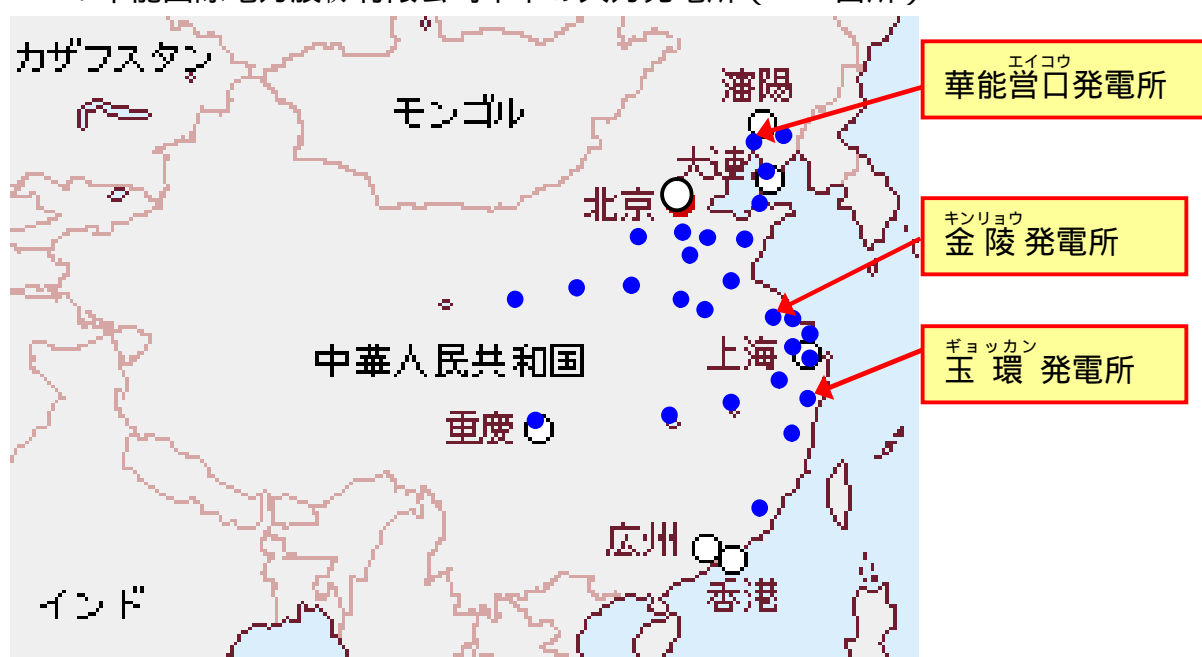
華能国際電力股份有限公司は1994年に設立された、華能集团公司の持株発電会社。華能集团公司の傘下の電力有限公司の中で、最大の発電設備を所有しており、代表的な発電所として、中国初の単機出力100万kWの超超臨界圧（USC）石炭火力発電所である玉環発電所（100万kW×4機）が挙げられる。

## 1. 会社概要

- (1) 発電設備 4,094万kW（2008年度末時点：華能集団の6割程度）  
 (2) 発電電力量 1,846億kWh（2008年度実績）

## 2. 発電設備

：華能国際電力股份有限公司傘下の火力発電所（27箇所）



地図出典：外務省ホームページ

## 【参 考】今回の技術情報交換会に出席される技術者の所属発電所の概要

## 玉環発電所

ユニット	営業運転開始年	出力
1, 2号機	2006年	各 100万kW(USC)
3, 4号機	2007年	

## 金陵発電所

ユニット	営業運転開始年	出力
1号機	2006年	各 40万kW
2号機	2007年	
3号機	2009年	各 100万kW(USC)
4号機	建設中	

## 華能営口発電所

ユニット	営業運転開始年	出力
1, 2号機	1996年	各 30万kW
3, 4号機	2007年	各 60万kW(USC)